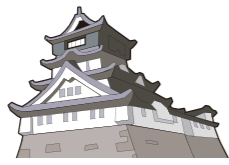


# 小倉城 リニューアルオープン



観光によるまちのにぎわい創出に取り組んでいる本市にとって、3月10日の門司港駅グランドオープンや、3月30日の小倉城のリニューアルオープンは、本市の魅力アップにつながる明るい話題です。昨年8月から閉館し改装工事を進めてきた「小倉城天守閣」がいよいよお披露目となりました。天守閣はバリアフリー化を図るため、1階から5階までエレベーターを設置しています。お城そのもののライトアップはかなり浸透しましたが、今回新たに周辺もライトアップされ幻想的な雰囲気を醸し出しています。また天守閣のそばにおもてなしステーション「城テラス」がオープンしたほか、広場には小倉ゆかりの2人の剣豪、宮本武蔵と佐々木小次郎のモニュメントも登場しています。これを機会に是非リニューアルオープンした小倉城をご覧くださいと思います。

ドーム直径25m以上のプラネタリウム建設を目指す!

## 児童文化科学館(桃園)を 東田地区(SW跡地)に移転新設へ

一昨年の大みそかに閉園した、スペースワールド跡地に以前より移転場所を検討していた児童文化科学館が新設される方針が示されました。3月議会で新科学館の基本設計等に要する予算6,870万円が計上され、スペースワールド駅からスの東田2丁目交差点付近に移転新設を検討していることが発表されました。プラネタリウムのドーム直径は現在の20mから25m以上とすることを目指し、新科学館の目玉にしたいとのこと。

スペースワールド跡地についてはイオンモールが2021年中に新しく食やエンターテインメントなどをコンセプトとした施設をオープンする予定です。東田地区の集客施設のひとつとして、新科学館の誕生が待ち遠しいです。



児童文化科学館が移転予定のスペースワールド跡地

## 皿倉山ケーブルカー 夜間運行決定!!

金・土・日/  
通年で週末

これまで、皿倉山ケーブルカーの金曜日の夜間運行は5月と10月に限られていましたが、平成30年10月に本市が「日本新三大夜景都市」に認定され、益々皿倉山からの夜景が注目されることになりました。これを機に4月から通年でのケーブルカーの週末夜間運行が決定しました。小倉城や若戸大橋、工場夜景など魅力あふれる各スポットが充実する事になります。みなさんも是非通年で皿倉山からの夜景をお楽しみください。《通年で金・土・日・祝日に夜間運行を行います》



皿倉山からの夜景

これまでの夜間運行日	変更後の夜間運行日
<ul style="list-style-type: none"> <li>土曜、日曜、祝日</li> <li>ゴールデンウィーク</li> <li>7月中旬から8月末まで</li> <li>5月、10月の金曜日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>土曜、日曜、祝日</li> <li>クリスマス期間</li> <li>ゴールデンウィーク</li> <li>年始期間</li> <li>7月中旬から8月末まで</li> <li>バレンタイン期間</li> <li>毎週金曜日(通年)</li> </ul>

生年月日	昭和31年8月21日 八幡東区生まれ	
学歴	北九州市立大蔵小学校卒業 北九州市立大蔵中学校卒業 福岡県立北九州高校卒業 川崎医療短期大学放射線技術科卒業	職歴 福岡県済生会八幡総合病院勤務(診療放射線技師) 平成21年 北九州市議会議員 初当選 平成25年 北九州市議会議員 2期目当選 平成29年 北九州市議会議員 3期目当選
所属	経済港湾委員会委員、保健病院委員長(平成25、26年)、八幡東区議員懇話会会長(平成29年)、議会運営委員会委員(平成30年)、総務財政委員会(平成30年)	

白石かずひろ事務所 〒805-0061 北九州市八幡東区西本町二丁目9-5  
TEL. 093-681-6128 FAX. 093-681-6138  
e-mail k-sris@hop.ocn.ne.jp

●この市政レポートは、市議会各会派に交付される政務活動費を用いて作成しています。  
●重複して送付されたり、宛名変更などがある場合は、お手数ですが白石かずひろ事務所までご一報ください。



北九州市議会議員 八幡東区

# 白石かずひろの ハートフル通信

No.39 春号

[発行日] 平成31年4月 [発行人・編集人] 白石一裕

2019

## 児童文化科学館が東田地区に移転新設 八幡東区の新しいまちづくりがスタートを迎えようとしています

(東田2丁目交差点そば)

長かった冬も終わりを告げ桜のほころぶ時期を迎えました。皆様におかれましてはお健やかにお過ごしのことと存じます。

早いもので市議会に送り出して頂き丸10年を経過致しました。

この間、**新市立八幡病院の建設や、桃園市民プールの建て替え、皿倉山夜景を中心とする賑わいづくりなど私の要望、議会質問にて実現に至りました。**この3月議会で3期目の折り返しを迎え、新たに経済港湾委員会 委員を拝命致しました。表題にお示した、児童文化科学館の移転新設の方向性が明らかになったほか、整備が遅れていたレインボープラザの改修にもようやく見通しが立ち始めました。八幡東区の新しいまちづくりがスタートを迎えようとしています。このレインボープラザを中心とする中央町の再開発計画は12月議会で白石質問がきっかけ

街づくりに重要な位置づけ、中央町地区の再整備急務。



平成31年3月議会質問

となりスタートしています。

中央町地区はかつては市内でも有数の繁華街でしたが日本の経済状況や八幡製鉄所の高炉縮小などによる人口減少も加わり商店街にはシャッターが閉まっているお店も多くあります。この中央町地区の再整備は八幡東区の街づくりに重要な位置づけになると認識しています。

3月4日より3月14日(11日間)まで3月議会が開催され、2019年度の予算が決定しました。この議会は、1月末に市長選があった関係で4月から6月の暫定予算を組み、新事業などを盛り込んだ本格予算は6月定例会に提案されます。3月議会では防災・減災対策の観点から緊急の必要があるものや、全国的な施策について切れ目なく取り組むため、30年度3月補正予算と31年度暫定予算が一体となって対応していく予算となっています。主な予算は以上のようになっています。

### 平成30年度3月補正予算案

■ 一般会計	80億2,726万円
■ 特別会計	15億2,250万円
■ 企業会計	32億7,712万円
■ 総額	128億2,688万円

### ●主な事業

災害関連地域防災がけ崩れ対策事業	1億円
小・中・特別支援学校の外壁改修事業	16億3,180万円
小・中学校の空調設備整備事業	4億9,350万円
新科学館整備事業	6,870万円など

福岡県知事選挙・福岡県議会議員選挙  
投票日 4月7日(日)

## 質問 Question

### 市街化区域と市街化調整区域の区分見直しについて

昨年7月、西日本豪雨により市内約400ヶ所で土砂崩れが発生したことに端を発し、都市計画審議会専門委員会で人口密度、高齢化率、交通利便性、土砂災害区域の指定状況などを34の指標を使って市内全域を分析、点数化し、区域区分の見直し候補箇所を抽出する方向性が示された。斜面地に住む世帯アンケートを実施し結果がまとまった上で、数年後に区分の見直しを始めたいとしているが、この政策は政令市として初めての取組で、地域コミュニティの維持や資産価値の減少にも課題があると考え、どのように検討を進めるのか。

市長

## 答弁 Answer

本市では今後の人口減少等を見据え、平成15年に策定した都市計画マスタープラン以来、コンパクトなまちづくりを進めている。近年、斜面地住宅などでは、空き地・空き家が発生し、地域コミュニティの維持などの課題もあり、平成28年に策定した立地適正化計画では、コンパクトなまちづくりを、より一層推進していくこととしている。昨年の豪雨により市内407箇所の崖崩れが発生し、内約7割が斜面地住宅で発生した。コンパクトなまちづくりの推進に加え、より安全で、安心な地域での居住に対応する必要があると考え、昨年12月に見直しに着手した。区域区分の見直しにあたっては、まずは区域区分の設定基準や課題への対応などを盛り込んだ基本指針を作成する必要がある。専門家の意見や住民の意見なども踏まえ、本年10月をめどに基本指針の取りまとめを行い、12月以降候補地域の住民に対し説明し、協議が整った地域について見直しを行う予定にしている。

今回の取組は住民が居住している地域を対象に、土地利用の抑制を行おうというもので、「土地の資産価値が下がるのでは」といった懸念の声もある。しかし災害リスクが高い地域において、これ以上新たな住民を増やさないようにすることは、安全・安心で持続可能な住みよい都市をつくっていく上で、避けては通れないと考えている。

## 質問 Question

### 総合体育館の大規模改修及び世界卓球の誘致について

本市では様々な、国内トップレベルの大規模スポーツイベントが開催され、市民に夢と感動を与えるとともに、まちの賑わいづくりにも大きく貢献している。大会誘致に関わった皆さまに経緯を表するとともに、今後の誘致活動にも大いに期待している。こうした大会の誘致の前提として忘れてならないのは、本市の有する高規格・大規模施設であり、総合体育館やミクニワールドスタジアム北九州などの存在がなければ、ここまでの大会誘致は叶わなかった。総合体育館は様々な競技種目に対応できるアリーナと2階3階の椅子席だけで5000人もの観客を収容でき、九州最大規模を誇り、築後40年以上経ち老朽化が進んでいるにも関わらず、各方面から高い評価を受けていると聞いている。一方で大会演出や進行に不可欠な大型ビジョンやLED照明、またドーピングルームをはじめとする諸室の数が少なく、サブアリーナに空調がないなど、時代に見合った仕様に追いついていないために、主催者サイドの要望に応えきれないケースもあるなど、大会誘致の際のマイナス要因になることも懸念されている。今後、魅力ある国際大会を誘致し、スポーツの力で北九州市を元気にしていくためには基幹施設である総合体育館の大規模改修・グレードアップが欠かせないと考え、改修の時期や内容など方針について伺う。

**世界卓球誘致へ名乗り**  
北九州市 22年開催の団体戦に  
北九州市の北橋健治で開かれたシャパンオ  
市長は8日、卓球の世界選手権の受け入  
り選手権団体戦(2020年)の誘致を日本卓球  
協会の誘致に名乗り、協会の評価された説  
明を上げたことを明らかにした。世界卓球  
協会の誘致は、16日には国際卓球連盟  
が日本開催が決まれば、32万の選手が約1  
億5千万円となる。開  
会市の市議会3月定例会  
会白石二裕市議(ハ  
トフル北九州)の一  
般質問に答えた。誘  
致については北橋市  
長は、昨年6月に市内  
見直し【下原知広

平成31年3月9日(土)毎日新聞の記事

局長

## 答弁 Answer

総合体育館は昭和49年1月の開設以降45年が経過しており、外壁や屋根などが老朽化していることや、更新時期を過ぎた設備が多数あることに加え、大型ビジョンや第2競技場の空調、会議室の数など、大規模大会誘致に必要な機能が不足しているとの声が、大会主催者から寄せられていることは、議員ご指摘のとおりである。一方、平成28年2月に策定した「公共施設マネジメント実行計画」では総合体育館を「大規模大会に対応する施設として長寿命化を図り、存続する施設」と位置づけて耐用年数80年まで使用するとしている。このため平成29年に「総合体育館大規模改修基本計画」を策定し大規模大会誘致に対応するため「機能アップ」という2つの観点から必要となる工事の検討を行った。

その結果、外壁や屋根、床の改修、空調や配管類の取替え、アリーナ照明のLED化などの「長寿命化・リニューアル工事」に約30億円、大型ビジョンや第2競技場の空調の新設、会議室の増設、エスカレーターの新設などの「機能アップ工事」に約12億円、総額で42億円程度が必要と明らかになった。また改修工事に伴い全面休館期間が1年必要となり、事業着手から工事完了まで公共事業評価や設計を含めると5年程度かかることも明らかになった。大規模改修には多額の費用や期間が必要となり、いつどのような工事を行うのか財政状況などが誘致状況なども勘案しながら、検討を進めたい。

## レインボープラザ地下の長期閉鎖問題

中央町地区の中心部に位置するレインボープラザですが、平成28年3月に起きた地下天井部分の落下事故により地下のプールやレインボーホールは約3年間閉鎖状態が続いています。閉鎖状態が長引いた背景には施設を管理する市や福祉事業団と、スイミングスクールを経営していた民間企業の間で、事故の責任や損害について訴訟が続いていたことがあります。この度ようやく和解が成立し長期に及んだ休止状態から脱する見通しが立つことになりました。この間、地上の広場やステージにおいても使用が制限されていたため、はしご酒など様々なイベントで使用することが叶わず、アーケード内を代替利用していました。今後、レインボープラザの地下1階部分を廃止し、地下部分と広場部分の本格的な改修を行う予定です。



改修がまたれるレインボー広場

## 新・桃園市民プール 起工式を挙げる



新・桃園プール予定地

2月5日 待望の新・桃園プール起工式が執り行われました。これまで多くの要望をいただき議会でも質問を重ねてきた結果、市民の健康づくりや各種競技大会の開催、2020年の東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地誘致をきっかけに半世紀ぶりに建て替えが決定したものです。

再整備後のプールは市内唯一の室内公認50mプールとして、県・市内大会など競技大会が開催できる施設となります。施設規模は延床面積約6500㎡で地上2階建て、50mプール公認8レーン、25mプール公認6レーン、児童プールは150㎡で観客席を800席完備するほか、各種大会に必要な大型ビジョンを備えます。桃園地区は児童文化科学館の移転に伴いスポーツゾーンとして全体を整備していくこととしています。利用台数に制限のあった駐車場も確保できる見込みです。完成予定の2020年3月完成が待ち遠しくなりません。

## 小・中学校特別教室の 空調設備整備事業

教育現場である小中学校では近年の猛暑により、夏休み期間では対応できないほど室温が上昇し、議会での度重なる要望もあり、市内の全小中学校の普通教室にエアコン整備を行いました。さらに、耐震改修やブロック塀の改修などの費用も重なり、特別教室へのエアコン整備が出来ない状況が続いていました。今回、国の補正予算を活用し、特別教室のうち優先度が高いと判断される小学校10校の理科室及び中学校47校の音楽室にエアコンが整備されることとなりました。今回の補正整備予算は4億9350万円で31年度中の整備を予定しています。



## ポテトの ひとりごと



こんにちはポテトです！  
春の匂いがし、寒さも和らいできましたが、ポテトはまだまだストーブから離れられません。昼間は、ほかほかカーペットでぬくぬくとお昼寝しています。ポテトは猫だから寒がりなのですが、実は父さんも結構寒がりさんなんです！あの体型で??と思うのですが、スーツの下はヒートテックの長袖シャツとタイツ、それにダウンのベストで寒さ対策しています。家でもトレーナーの上にダウンベストを着ています。そしてそのままお布団に入って寝ます(苦笑)ただ寒がりだけなのですが、父さんが常に紺色のダウンベストを着ている姿を見て母さんは「防弾チョッキみたい」と呆れています(笑)  
父さん!3月で「防弾チョッキ」は卒業してね!!

